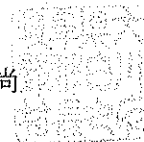




道路「中期計画」作成にあたっての意見

国土交通省道路局長 様

岐阜県大野郡白川村
白川村長 谷 口 尚



全国的に都市と地方の地域格差が広がり少子高齢化、過疎化に益々拍車がかかり特に農山村は深刻な状況となっている。また、近年の地球規模での環境、温暖化問題、国内における食糧需給率の低下等、これらを守るのは国土の7割を占める農地、森林を保有している農産村である。公共交通機関が発達している都市部とは違い、道路交通しか公共交通手段のない村にとって道路への依存度は高く重要な生活基盤となっている。「美しい国」日本の国土を守り、合わせて地域格差を少しでも是正し、地域の活性化を図るためには道路整備は重要な位置づけであると考えます。

1.重点化を進める上で特に優先度の高い政策。

- ①通勤・通学・通院等の日常生活における生活生命線としての整備、また、観光や企業誘致等の地域活性化のための道路整備。
- ②生活路線としての「安全・便利・快適」な通行、また、観光地としてイメージダウンにならないよう大雨、雪崩等異常気象時通行規制の基準値の見直しや、その解消のための防災工事。
- ③美しい道路景観(沿道修景)を創出するため住民や各種団体と連携して取り組みやすい制度の確立。

2.効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

- ①高速道路をもっと有効に利用して頂き、村の生活環境(通勤・通学・通院)の向上を図るため「高速道路料金」の引き下げ、無料化が重要である。

3.その他、道路の管理に関すること。

- ①冬期間の国道除雪では日交通量等の費用対効果だけでなく地域の実情を考慮に入れた除雪対応(24h体制)を考えてほしい。
- ②道路予算における建設改良費、維持経費について縦割りではなく臨機応変に対応していただきたい。